

しろがね特別支援学校のセンター的機能

専門アドバイザーの仕事の中から認定こども園の相談事例を紹介します

【友達とのトラブルが多い 言葉よりも先に手が出ることが多い3歳児】

3歳児のAさんは、言動が激しく1日の中で友達とのトラブルが数回起こります。2時間強の観察時、ほとんどの時間はのびのびと楽しく遊んでいましたが…「お前のせいだろ」と強い口調で言ったり、砂遊び用のスコップで友達顔をたたいたり、流しを使っていた友達に頭突きをしたりすることもありました。気持ちが落ち着くと「ぼくもそっち（おもちゃや水道）使いたかった」と、友達に手を出した理由を話すことができました。普段は振り上げた拳をもう片方の手でおさえて、怒りをぐっと堪える姿もあるようです。また、信頼関係が築けている大人からの指示は、素直に受け入れることが多いようです。

提案

「ほめる」

良いこと、がんばっている姿など〇の姿はすぐにほめましょう。「いいね！まるだね！すてきだね」など言葉や表情、身振りて伝えて『先生はAくんを見ていること』が分かるようにしましょう。この年齢ならできて当然と大人側が思うようなことでも、たくさんほめましょう。また、生活の中で、まずは大人が意識してふわふわことばを使いましょう。



「約束する」

活動前（遊ぶ前）に約束を確認しましょう。

「困ったら、怒りなくなったら、先生に言う👏」「急に友達に触らない👏」などをイラストに言葉を添えて確認しましょう。Aくんだけでなく、クラス全体で約束を確認しましょう。

「繰り返し伝える」

トラブル後、自分の気持ちを言葉にできたことは認めましょう。ただし、暴力は絶対にいけないこと、我慢できないときには先生に言うことは、繰り返し伝えていきましょう。

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しろがね特別支援学校
担当：専門アドバイザー 板谷 みのり
電話：027-268-6111
FAX：027-268-6113
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp